



長門の話題 Topics

ともに考えよう！長門の医療

本当の医療の姿を知って

7月3日(日)、ルネッサなごと地域フォーラム「ともに考えよう！長門の医療」が開催されました。

フォーラムでは、まずテレビでも活躍されている本田宏先生により講演会が行われました。本田先生は、「外国に比べて日本は医療費が高いとか、医者が偏在していると言

われるが、実際は違っている。今後は行政の垣根を越えて、他市との連携も視野に入れていく必要がある」と述べました。

また、パネルディスカッションでは、いろいろな立場から意見が述べられ、参加者は長門圏域の医療について認識を新たにしていました。



▲本田宏先生(左)による講演のようす

▼参加されたパネラーのみなさん



今年の長門の夏は熱い！

ながと夏フェスタ①オープニング&フィッシング



▲オープニングイベントでの歓迎パフォーマンス

▼フィッシングスクール



市では、今年度から夏に開催されるイベントを一括して「ながと夏フェスタ」として観光客誘致に取り組んでいきます。

7月3日(日)、仙崎駅を中心にオープニングイベントを開催しました。これは、県の「おいでませ！山口イヤー 観光交流プレキャンペーン

「オープニングイベント」と連携して開催されたもので、みずぎクイズや和太鼓グループ「青波」が歓迎パフォーマンスを披露しました。

7月10日(日)には、「長門ヨットフェスタフィッシングスクール」が開催され、11組の親子がアジのサビキ釣りに挑戦しました。

ながと夏フェスタ②通くじら祭り

力自慢がクジラと勝負！

7月17日(日)、通小浦埋立地で「2011通くじら祭り」が開催されました。和船競漕大会や、鯨肉を使った料理のバザー、通小学校教育徒による鯨唄発表が行われ、炎天下にもかかわらず会場は大勢の家族連れでにぎわいました。

新たに企画された「古式捕鯨外伝く通カップ」では全長13・5mのクジラの模型をロープで40メートル引き、そのタイムを競いました。中学生以上の男性12人が参加し、大きく、重たいクジラを相手に、力一杯ロープを引っ張っていました。



▲優勝した長州屋のブース

▼大健闘の2位となった日置農業高校のみなさん



こども環境クリーンアップ作戦実施

地域の教育環境を整える

7月15日(金)、長門市青少年育成市民会議により、「こども環境クリーンアップ作戦」が実施されました。これは、山口県青少年健全育成条例による有害図書、夜間外出の規制が守られるよう、市内各店においては有害図書の点検

指導を行うものです。巡回は、中学・高校の先生や青少年育成市民会議のメンバーが4人一組で実施、市内のコンビニエンスストアやカラオケ、レンタルビデオ店で山口県青少年健全育成条例の規制に合致しているか、点検を行いました。



長門のおいしさを競う

ながと夏フェスタ③N1グランプリ

7月17日(日)、地元で愛されている食材を使い、安くて美味しい長門市のご当地グルメを発信することを目的に「食の祭典N-1グランプリ」が青海島シーサイドスクエアで初開催されました。

これは(社)長門青年会議所・ながと夏フェスタ実行委員会が主催したもので、長門市の食材を使ったご当地グルメを

1団体が1品ずつ提供し、来場者と特別審査員の投票でナンバー1を決定するというもの。地元のサークル、飲食店など19の団体が出店しました。会場はアイデア料理を食べようと集まった多くの人でにぎわいました。投票の結果長州屋の「元祖長州豚味噌蒲焼き丼」がグランプリに輝きました。

水難事故を減らすために



7月8日(金)、向津具小学校プールで「水難防止安全教室」が行われ、向津具小学校の3、6年生26人と、仙崎海上保安部の保安官14人が参加しました。まず保安官が、自分が海に入って助けようという、近くの大人や海上保安部へ連絡すること、浮か

ぶ物をおぼれた人のところに投げることなどの説明をしました。説明が終わるとプールに移動し、海に落ちた時に助かるための訓練を実施。着衣状態では体が動かせない事を体験し、落ち着いて救助を待つ方法を練習しました。

6月27日(月)、交通安全母の会が市役所で、二井関成県知事から各市町長へ向けたメッセージを伝達しました。これは県外からの観光客をもてなし、イメージアップを図るために実施されるものです。伝達式では、同会の長井美智子会長がメッセージを読み上げました。



県全体のイメージアップを

6回目の「海岸清掃の日」

美しい海岸を取り戻す

7月10日(日)、市内8カ所の海岸で「海岸清掃の日」が実施され、ボランティア約1,400人が参加しました。長門市の海岸はすべて北長門海岸国定公園に指定されていますが、漂着ごみが多く汚れています。そのため、海水浴のシーズンを前に美しい海岸

を取り戻そうと、毎年「海岸清掃の日」を定めて実施しており、今年で6年目となりました。この日は晴れて蒸し暑く、参加者は汗だくになりながら懸命に海岸のごみを拾い、8カ所合わせて約9トンのごみが集まりました。



7月1日(金)、サバーサマが飯山八幡宮を出発し、恒例のサバー送りが始まりました。今年は藤中区の人たちが、サバーサマとサネモリサマを境川を経由して日置地区まで運びました。サバーサマとサネモリサマは住民の手により下関市豊北町に送られます。



害虫から稲を守って！

サバーサマが今年も出発

東日本大震災被災地への支援状況について

東北地方太平洋沖地震に係る被災者支援長門市市民会議から

主な支援活動の状況

(6月以降)

■募金 (7月21日現在)
日本赤十字社山口県支部
長門市地区 (市福祉課にて受付)
17、928、990円

■救済物資
現在は募集を中止しています。

■人的派遣状況
市職員 1人
期間 7月9日
～7月16日

■派遣先 宮城県東松島市
業務内容 避難所で衛生管理や避難者の健康管理、在宅被災者の家庭訪問
市職員 2人(自治労派遣)
期間 6月25日
～7月3日

■被災地支援の取り組み
6月市議会で震災関連予算が議決されました。これを受け、市民会議として、次の事業を行います。

■みずぐの詩集本の進呈(被災地の小中学校に贈呈)
■みずぐの詩の朗読ボランティアを派遣し、被災者の心の傷の癒しを行う

・派遣先 宮城県石巻市
・業務内容 避難所支援
■被災者支援
行政支援を実施。市民会議からは災害見舞金などを支給しています

今後の支援について

■募金・人的派遣
引き続き行います。ボランティアとして被災地に行かれる場合は、市社会福祉協議会までお問い合わせください。

■被災地支援の取り組み
6月市議会で震災関連予算が議決されました。これを受け、市民会議として、次の事業を行います。

■みずぐの詩集本の進呈(被災地の小中学校に贈呈)
■みずぐの詩の朗読ボランティアを派遣し、被災者の心の傷の癒しを行う

■被災地3県の物産品即売会
をながとふるさとまつりで開催

■ボランティア募集
ながとふるさとまつりで開催する東北3県物産品即売会でお手伝いいただける高校生ボランティアを募集します

日時 8月21日(日)
8時30分～16時30分
業務内容 物産品の販売
募集人員 10～12人程度
対象者 高校生のみ
応募方法 電話にて事務局までお問い合わせください。原則2人1組で応募してください。

募集期間 8月5日～11日
(定員となり次第締め切ります)
待遇 当日の昼食は市民会議で用意します

市市民会議事務局 福祉課福祉係
TEL 23 1 2 4 5



▲そば打ちに挑戦
▼80日前イベントのようす



「おいでませ！山口国体・山口大会」近づく

歓迎ムードを盛り上げる

10月に開催される「おいでませ！山口国体・山口大会」が近づいてきました。大会歓迎ムードを盛り上げるイベントが数々開催されました。

7月9日(土)、山口国体ラグビーフットボールの全山口少年チーム強化合宿が俵山で行われ、合宿の一環として里山ステーション俵山で体験交

流会が開かれました。選手約40人が参加し、そば打ちや、火おこしを体験しました。

7月13日(水)、向陽小学校で80日前イベントが開催されました。向陽小学校、俵山小学校の児童とオール山口合わせて100名が集まり、メモリアル萩焼陶板づくりを行い、児童との交流を深めました。